

舗装業者様 導入事例

ユーザ	従業員数 (人)	年間完工高 (億)	売上÷人員 (百万)	導入目的	詳細
H社	7	2.0	29	元請への請求額を早く査定したい	今まで現場からの日報を手作業で集計していたが、もっと効率的に集計し、請求額査定をスムーズにしたいと感じていた。「どっと原価(簡単編)」を提案。費用も指導費込みでリースで月1万円程度なら・・・とのことで即、導入決定。
P社	10	2.6	26	元請への請求額を早く査定したい	日報の集計を自動化したい(特に労務)。完成工事分の請求を確実にいき、未集金管理も行いたい。また、ISOも日報ベースで運用。導入3年後に見積・請求オプションを追加導入。
H道路	21	7.0	33	元請への請求額を早く査定したい	今まで、手計算で月々の労務・材料費を集計し、Excelでまとめていたが毎月集計が遅れがちで元請先への請求額算定が「見込み」になる場合もあった。工事担当者が直接入力することで月末時に労務集計が完了すれば出来高請求額の交渉もしやすくなるとのことで、導入。
S工業	71	21.0	30	オーダーメイドシステムからの切替	従来、オーダーメイドによる経理主体原価管理システムを利用してきたが、今まで、システムのカスタマイズ対応費用等で高額のコストがかかっていた。また、一方で、現場のリアルタイム原価と経理管理システムの統合化を目指したいという管理部長の意向で、導入。日報でISO部分を含めた記録と原価管理を両立しながら、支払・経理業務までを連携している。
T道路	49	13.0	27	オーダーメイドシステムからの切替	従来、Accessベースの現場型リアルタイム原価管理を実施。しかしながら、支払管理と経理とを連動したシステムを導入したいと会計事務所に相談。会計事務所が使用していた会計ソフト「会計王」とを連動させ、更に手形発行をレーザープリンターで印刷し、事務処理の合理化を実現させる。
舗装工事業者様へ				<p>①日々の労務・材料等がリアルタイムに集計され、毎月の出来高請求額の査定に有効です。</p> <p>②予算管理や出来高進捗管理も日々確認できます。</p> <p>③路盤・表層工など作業別の自社歩掛(施工能力)も自動集計可能で、次回の予算(予定原価)作成時に活用できます。</p>	